

厚生労働大臣杯争奪 第60回

全日本実業柔道団体対抗大会報告書

男子は新日本製鐵が

10年ぶり30度目の優勝

女子はコマツが女子で初の4連覇

8度目の優勝を達成

厚生労働大臣杯争奪第60回全日本実業柔道団体対抗大会は、6月5日(土)、6日

(日)の両日、東京都足立区綾瀬の東京武道館において開催された。参加チームは127チーム(男子108、女子19)。本年9月に東京で開催される2010世界柔道選手権大会代表選手も多数参加し、6試合場で繰り広げられる熱戦に、応援団、観客の歓声が広い武道館に響き渡った。



開会式であいさつをする阿南惟正副会長



開会式であいさつをする上村春樹全柔連会長

は、昨年の世界選手権ロッテルダム大会63kg級において全試合一本勝で見事金メダルに輝いた上野順恵選手(三井住友海上火災保険)が受賞。同時に功労賞(15回出場)の表彰も行われた。(別記参照)

初日は、男子第三部と女子第一部の試合が行われた。男子第三部は出場3回目のセンコーと軽量級の選手を中心にチームを構成した旭化成が決勝戦で対戦。両者、抜きつ抜かれつの好勝負を展開したが、最後に旭化成に凱歌が上がった。

女子第一部は3チームによるリーグ戦で行われ、コマツが世界選手権代表の杉本美樹選手、宇高菜絵選手等の活躍で2戦全勝し、4年連続8度目の優勝を果た

す。準優勝は強敵三井住友海上火災保険を降した自衛隊体育学校。

二日目は、男子第一部、同第二部と女子第二部の試合が行われた。男子第一部は新日本製鐵と日本中央競馬会が決勝戦を争った。手に汗握る白熱戦は代表戦にもつれ込み、今年の全日本選手権大会決勝戦を再現。本大会においても、新日本製鐵の高橋和彦選手が日本中央競馬会の立山広喜選手を逆転の一本勝で破り、10年ぶり実に30度目の優勝をチームにもたらした。

男子第二部は実力者を揃えたADRICAが、昨年準優勝の日本通運を2-10で降して嬉しい初優勝を果たす。この2チームに加え、準決勝進出のまるや接骨院、



選手宣誓をする佐藤充弘選手(日本中央競馬会)



開会式

東レ滋賀の4チームが来年の第一部出場権を獲得した。

女子第二部は昨年の優勝チーム、フォーリーフジャパンと昨年までの第一部から今回第二部にエントリー変更したヤックスケアサービスとの決勝戦になり、フォーリーフジャパンがオール一本勝のパフォーマンスでヤックスケアサービスを降して初優勝を遂げた。

尚、来年度の第61回大会は、5月28日(土)、29日(日)の2日間、愛媛県松山市の愛媛県武道館に於いて挙行される。

男子第一部

(その他の部は4分間。)

新日本製鐵1年ぶり3度目のV、
全日本チャンピオンの高橋が代表戦の
ラスト2秒で立山を逆転で降す



代表戦 ○高橋 合技 立山

決勝戦は昨年の覇者日本中央競馬会と新日本製鐵との対決。両者はそれぞれ準決勝戦で、日本中央競馬会は旭化成Bを2対0で退け、新日本製鐵は宿敵旭化成Aを2対1で降しての決勝戦進出。

先鋒戦は、序盤、山本が左内股を連発し、1分13秒受けに回った齋藤に指導1。その後は、両者組み手不十分ながら、齋藤は右内股、山本は左からの内股、大内刈、体落の応酬となるも、互いにポイントを奪えず時間。

沙鉄軍、長身の高橋は片測にひょきよき抜かれて組めず、片測は無理に組まず、共に1分10秒指導1。その後も両者の奥襟の奪い合いが続くが、終盤、体力で上回る高橋が組み手を支配し、守勢の片測に4分16秒、指導2。その後も高橋は攻撃を続けたが、片測が何とかしのいで時間を新日本製鐵が1点先取。

中堅戦は他を圧倒する体躯の立山と身長、体重で大きく劣る西山。序盤、西山が先手を取つて動き立山の攻撃を封じるが、中盤、立山が背負投に来た西山の右足に、小外刈から体を浴びせて横鱗させ1分59秒有効。その後は、西山が組み際の体落、足技で機先を制し、技の止んだ立山に2分59秒指導1。終盤も西山は体落、足技で立山を翻弄するもポイントを奪えず時間。

巨漢同士、新旧の副将戦は、ケンカ組み手の石井と森田が自分の組み手に拘つて、単調な戦いに終始し、1分37秒、3分18秒に共に指導を受けて引分。



男子第一部優勝 新日本製鐵手-1

■優勝監督コメント

新日本製鐵 永井亮平

第60回全日本実業柔道団体対抗大会にて10年振りの優勝と併せ、念願であつた通算30回目の優勝を達成する事ができ大変嬉しく思います。

となりながらも選手達が最後まで諦める事無く、勝つ事を信じ戦い抜いた結果が優勝と言う結果に結び付いたのではと思ふと共に、戦い抜いた選手達を誇りに思います。

今回の全日本実業柔道団体対抗大会での優勝を良いステップとし、今後更なるチーム目標の達成に向け、日頃から御支援、御声援をして頂いている方々への感謝の気持ちを忘れずに活動して行きたいと思います。

男子第一部成績表

優勝 新日本製鐵
準優勝 日本中央競馬会
第3位 旭化成B
第3位 旭化成A



戸高鉱業社、ダイコロ、九州電力、日本通運の4チームは
次年度第二部に降格する

【準決勝】

第1試合

日本中央競馬会 2-0 旭化成B
山本宜秀 4段 —× 辻玄太 3段
片渕慎弥 4段 —× 田中貴大 3段
立山広喜 4段 —× 野田嘉明 3段
○石井竜太 4段 小外刈 出口雄樹 3段
△鈴木龍 4段 指導2 西田泰悟 3段

第2試合

旭化成A 1-2 新日本製鐵
○高井洋平 4段 大外刈 森田祥一 4段
西渕健太 3段 支釣込足 西山将士 4段△
塘内将彦 5段 —× 高橋和彦 4段
増渕樹 4段 —× 齋藤俊 3段
大鋸新 5段 横四方固 吉永慎也 4段○

【決勝】

日本中央競馬会 1-① 新日本製鐵
山本宜秀 4段 —× 齋藤俊 3段
片渕慎弥 4段 指導2 高橋和彦 4段△
△立山広喜 4段 小外刈 西山将士 4段
石井竜太 4段 —× 森田祥一 4段
鈴木龍 4段 —× 吉永慎也 4段
立山広喜 4段 合技 高橋和彦 4段○
(代表執)

平成21年度 年間最優秀選手



〔宮崎輝賞〕

上野順恵(三井住友海上火災保険)

〔功労賞〕

佐野秀明(株)東京都柔道接骨師会)

優秀選手

〔男子〕

第一部 高橋和彥(新日本製鐵)
第二部 吉永慎也(新日本製鐵)
第三部 西山将士(日本中央競馬会)

石駒河白齋影三大中鈴石立西吉永慎也(新日本製鐵)
本瀬添井藤野山川野木山井竜太(日本中央競馬会)
光雅勇裕悟康貴(日本中央競馬会)
樹洋佑輝涼和司隆竜士(日本中央競馬会)
(センコ) (旭化成) (旭化成) (日本通運) (日本通運) (ADRILA) (ADRILA) (ADRILA) (ADRILA)

〔女子〕

第一部 杉本美香(コマツ)
第二部 宇原頼子(自衛隊体育学校)
第三部 川上由貴(フジワラフジヤバン)
本奈真衣(ヤシクヌタセヒコ)
立原菜絵(コマツ)
橋本実(ヤシクヌタセヒコ)

男子第一部

実力者を揃えたADRIAが圧勝で、
第二部初優勝を飾る

緒戦から圧倒的な強さを發揮して順当に勝ち上ったADRIAと次鋒三山と副将影野の活躍で接戦を勝ち抜いた日本通運の両雄が、参加チーム数24チームの頂点を目指す。

先鋒戦は、右組み同士の鈴木と松尾の両者が組み合いで、1分6秒に20kg近く重い鈴木がパワーで軽量の松尾を左袖釣込腰に担ぎ、背中から前方に落として一本を奪う。

次鋒戦。共にここまで全勝の両者、得意の低い背負投で3試合オール一本勝の三山は、体格で上回る左の中野を相手に右組みから果敢に攻撃を重ねるが、中野にうまくかわされる。中野は背中を持つた左の変形から、時折大外刈、払腰を仕掛けたが、三山も難なくこれを受け流す。結局、再三再四の三山の背負投も不発に終わり引分となる。

ケンカ組み手の河野、坂本による中堅戦は、互いに激しい動きで組み手争いを重ねるも、見るべき攻防も殆ど無く、2分24秒に両者指導1を受けて引分。

副将戦。体重、身長共に勝る影野が右組みで上から持つて左の大平を振り回すが、大平も一步も譲らず両者接戦を続ける。残り1分で受けに回った大平に指導1が与えられるが、その後は大平が引き技を繰り出して、それ以上のポイント

を影野に許さず、引分ける。

大将戦は、左組みでいざれも同じ体型同士の対戦。1分40秒には共に組み合いで、大川がスッと大内刈に入つて押し込まれ、大熊は後ろへたり込むようになり、技ありとなる。その後、大熊は左変形になつて払腰で攻めるが、大川は軽く受け流す。そうして迎えた2分28秒、大川は組み合つた姿勢から、大熊を押し込み、次に前方に素早く飛び込みながら180度体を翻らせて、豪快な体落で大熊を畠に這わせる。

両チームに加え、準決勝進出したまるや接骨院と東レ滋賀の4チームが第一部昇格を決める。

■優勝監督コメント

ADRIA監督 中野 大

この度、第60回全日本実業柔道団体対抗大会の第二部において優勝できましたのは、関係者各位、趣旨にご賛同いただきお力添えを下さいました協力者の方々、お世話になりました諸先生方のお陰でありますことと心より感謝申し上げます。

チーム設立当初からの理念であります「社会人柔道に貢献する」というコンセプトを忘れずにチームが一丸となつて諦めずに活動を続けてきたことが、一つの形として結実したことは喜ばしい限りです。今後も慢心することなく精進していくことで選手・監督をはじめチームとして成長していければと考えております。最後に頑張ってくれた選手たちに心から感謝の気持ちを伝えたいと思います。皆さん本当に疲れ様でした。

【決 勝】

日本通運	0-2	ADRIA
松尾茂彰	3段	袖釣込腰 鈴木貴士 4段○
三山悟司	3段	—X 中野 竜 3段
河野勇人	3段	—X 坂本周作 3段
影野裕和	3段	—X 大平紘嗣 3段
大熊将史	3段	体 落 大川康隆 3段○

男子第二部成績表

優勝 ADRIA	第3位 まるや接骨院
準優勝 日本通運	第3位 東レ滋賀
以上の4チームは次年度第一部に昇格する	



男子第二部優勝 ADRIA チーム



男子第三部

軽中量級の選手でチーム構成した旭化成は、柔よく剛を制す柔道を魅せる。

旭化成と優劣付けがたい戦いを演じた

新興のセンエーは3年目で堂々の準優勝

本大会を穴の無い布陣で臨み、危なげなく決勝戦の進出で「初優勝を目指す」。一方軽い星級の選手で「チーム構成した旭化成は、柔よく剛を制す」の言葉通り、体重の違いに臆することなく、相手を翻弄して順当に勝ち進み、平成元年以来の優勝を目指す。

次鋒戦は、共に右組みの両者の対戦。体重で勝てる鈴木が内股等の大技を仕掛け易にそれを許さず、逆に、小外掛で1分34秒技ありを奪う。その後は、河添が奥襟をがっちり押さえ、試合の主導権を握る。2分31秒には河添が場外付近から鈴木を前に引き出し、左小内刈で真後ろに刈り込むと、鈴木は尻から背の順に倒れ込み技あり。合せ技一本。中堅戦。白井は体重差をものとせず、堂々と組み立てる。沼田は白井の軽量を衝いて強引な組み立てる。沼田は白井を浮かせるが、一方の白井は低い背負投、体落で沼田を搔きぶる。両者の攻防が続くも、時間となつて引き分ける。副将戦は唯一90kgを超える角地選手が登場。左右のケンカ組み手の両者が、互いに頭の応酬。その後は上背で上回る石本が角地を背中から押さえ付け、角地に1分32秒に指導1。統いて2分30秒では石本が繰り出す体落、足技、角地は受けに指導2。2分14秒には両者に指導が与えられ、角地に後が無くなる。終盤になつて反撲態勢に入つた角

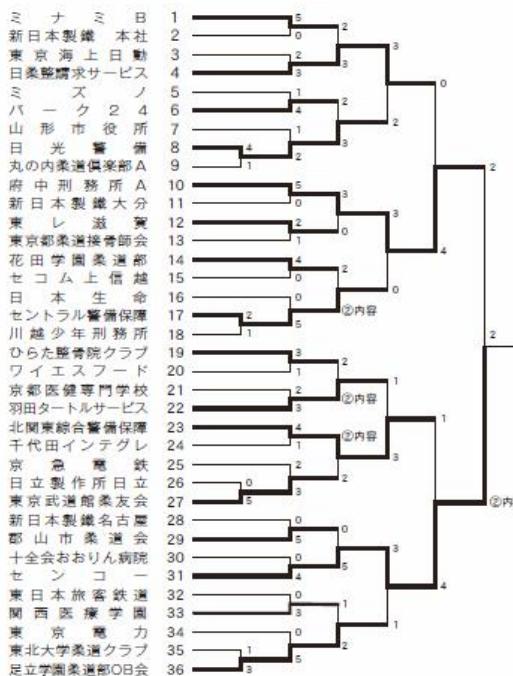


男子第三部優勝 旭化成チーム

男子第三部成績表

優勝 旭化成 第3位 府中刑務所A
準優勝 センコ一 第3位 東京拘置所

ベスト8のチームは次年度第二部に昇格する



復辟亂世

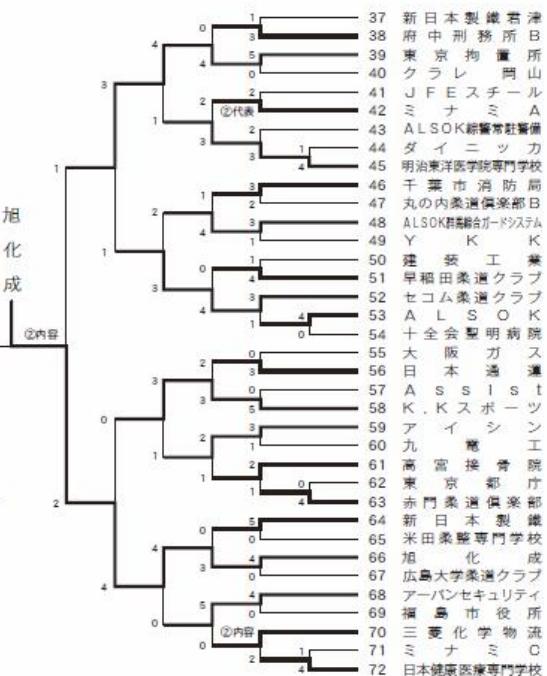
優勝を目指して厳しい稽古をしてきた結果、目標を達成でき大変うれしく思いました。出場メンバー6人中に66kg級が一人、73kg級が2人、81kg級が一人と軽量級で編成したので体力差や怪我が心配でした。が、選手たちはそんな不安を吹き飛ばす積極的な試合をしてくれました。来年も了好成績を残せるように日々の稽古に励んでいきます。

試合中の沢山のご声援ありがとうございました。

地であつたが、守りに入つた石本を攻め切れず、そのまま決戦となる。大将戦。大将戦。1点リードで迎えた大将戦。武井左組み、齋藤右組み、互いに引き手争いから始まる。体重で劣るも一歩も退かぬ齋藤は、一分過ぎて外際で引き手の攻撃が続く。その左引手で武井の襟を握り、素早く左右の足を大きく半回転をして体落とす。1分12秒、虚を衝かれた武井はたまらずその場に横転して技あり。中盤以降は齋藤の攻勢で、武井は2分33秒、3分30秒と連続で指導。その後も齋藤は、更に勢いを強め、遂に残り4秒武井に指導3の劇的な逆転勝。旭成が柔よく剛を制して、平成元年以来2度目の優勝を飾る。

【決勝】

セ	ン	コ	—	2—②	旭	化	成
○駒瀬雅洋	3段	大外刈	寺居高志	3段			
鈴木貴之	3段	合技	河添佑	4段	○		
沼田廣貴	3段	—	白井勇輝	4段			
▽石本光樹	3段	(指導3)	角地信太郎	5段			
武井寛明	3段	総合勝	齋藤涼	3段	○		



女子第一部

3チームによる巴戦を杉本、宇高等の活躍でコマツが制し4年連続8度目のV

第2試合
先鋒戦。山岸は左から積極的に組んで行くが、10kg近い体重差は如何ともなしに引分。次鋒戦は中村が階級差をものともせず、果敢に抱ぎ技、足技、寝技で廣村を攻めるも決め手を欠き引分。
中堅戦。50秒過ぎに阿部が不十分な体勢から不用意に左内股気味に左足を上げたところを國原が押し込んで崩して素早く送詰めに入り、起き上がるもろとする阿部を転がして完全に決め、1分8秒絞め落とす。

副将戦は上野姉が慎重になり過ぎて技が出ず、2分30秒に両者指導1。上野は



女子第一部優勝 コマツチー／＼



○ 宝高 小外科 山岸

【主な対戦結果】

コ	マ	ツ	2-1	自衛隊体育学校
宇	高	菜	絵	2段
▽	岩	田	千	穂
岡	明	日	香	3段
渡	邊	美	奈	2段
○	杉	木	美	季
				2段
—	—	—	—	—
藤	田	康	恵	3段
廣	村	麻	衣	2段
國	原	賴	子	3段○
平	井	希	希	2段
池	田	ひ	とみ	3段

自衛隊体育学校	(内客)	①-1	三井住友海上火災保険
藤田 康恵	3段	山岸 純美	3段
廣村 麻衣	2段	中村 美里	3段
○國原 賴子	3段	送巻 桂	阿部 香菜
平井 希	2段	指導 2	上野 順恵
池田 ひとみ	3段	山岸 巴東	2段

コ	マ	ツ	2-0	三井住友海上火災保険
岩田千絵	3段	—×—	中村美里	2段
○宇高菜絵	2段	小外刈	山岸絵美	3段
岡 明日香	3段	—×—	上野順恵	4段
渡邊美奈	2段	—×—	阿部香菜	2段
○杉木美季	2段	内 股	上野巴東	2段

庄倒的に廣村といふ展開が続く。残り26秒に、岩田が左払巻込みで廣村を転がし、中堅戦。國原は徐々に圧力を強め、開始2分近くになつて岡を激しく搖さぶれば、岡は伏せながら思わず國原のズボンに触れ、審判協議の結果、新ルールによる反則負。副将戦。渡邊は平井の巧みな試合運びに翻弄され勝機を掴めず引分。大将戦は、追う杉本が試合開始と同時に池田に襲い掛かり、防衛の池田に28秒指導1。場外から再開後の1分45秒、杉本は組み際に右手一本で池田を釣り上げながら右足で払い一本勝。

第3試合　一マツ丸・三井住友海上火災保険
先鋒戦。中村は組み際に左から内刈、右から外刈の二重内刈、左大襟を掴んで極端な変形から左内股、左大外刈に大きく振られ、残り6秒軽量の山岸は大きく飛ばされ一本。
中堅戦。1点を追う上野姉はケンカ組み手の岡を攻め切れず、岡は無理をせず、分。

今年は怪我が多くチームの状態は自らうなかつたので、厳しい戦いになるだらうと思つていた。

初戦は選手の動きも固く、流れを掴みきることができなかつた。その中で岩田がワンチャンスをものにし、杉本が気泡で一本勝ちして、自衛隊体育学校に辛勝することができた。

三井住友海上戦では、宇高が試合終了間際に一本勝ちを收め、チームに流れを引き寄せた。大将の杉本も落ち着いた試合運びで一本勝ちし、念願の4連覇を達成することができた。

怪我人が多い中、一人ひとりが自分の役割をしつかりと果たし、最後まで気持ちは切らさずチームワークで勝ち取つた勝利だと思う。

優勝曲目一覧

コマツ 松岡義之

ようやく終盤になつて攻勢に出て、守勢の平井に残り45秒指導2°。しかし、上野の大将戦。
妹に指導1°が与えられるが、上野は2分51秒左小内刈で有効を奪う。しかし、上野は池田の攻めを受け、3分58秒指導2°。スタミナを消耗した上野は、あと一步の攻撃が出ず引分に終わる。

共に指導3で引分。
副将戦も阿部が挽回を期して積極的に
出るがポイントを奪えず。対する渡邊は
じつくり構えて受け流しで引分。
大将戦。上野妹も杉本の激しい攻撃に
翻弄され防戦に回る。中盤以降、場外警
で上野の左小内刈を杉本がかわして右体股
落から前方に押し込むような右内股で転
がし、3分5秒一本。

女子第一部成績表

女子卓球 各回戦結果表					
	コマツ	自衛隊体育学校	三井住友海上 火災保険	勝	負
コマツ		○ 2-1	○ 2-0	2	勝
自衛隊体育学校	● 1-2		○ ①-1 (内容)	1	勝 敗
三井住友海上 火災保険	● 0-2	● 1-① (内容)		2	敗 第3位

女子第一部

フォーリーフジャパンが堂々の連覇
ヤックスケアサービスは涙を飲む

エントリーは16チーム。決勝戦は、準決勝戦を大将立山の一本勝でJR東日本グループに辛勝したフォーリーフジャパンと準決勝戦まで無敗、無敵の進軍で決勝戦に進出したヤックスケアサービスの一戦となつた。

先鋒戦。世界選手権大会代表の松本は、右組みで橋本をがっちり抑える。ここで寝技でオール一本勝の橋本は受けの姿勢でこれに対す。中盤に差し掛かり、寝技でタイムの後、組み手争いから低いところを掴んだ松本は、押しながら大外刈で足を掛け、橋本を更に後方に押し進めると、1分27秒、橋本がよろける様に背中から倒れ込み一本。

中堅戦。試合開始早々から、川上は積極的な柔道で相澤を翻弄。37秒に指導1を奪つた後、左釣手で相澤の片襟を持ち抱えるようにしながら48秒小内刈で倒し有効、56秒にそのまま袈裟固で抑え込み、その後、崩袈裟固(後袈裟固)に移行。がつちり抑え込んで、フォーリーフジャパンに二連覇をもたらす。

大将戦。開始早々、体躯に勝る立山は両襟を掴んだ右自然体から内股で無造作

に島本を転がして技ありを奪い、そのまま袈裟固でがっちり抑え込む。34秒に20秒が経過して合せ技一本。フォーリーフジャパンはオール一本勝でチームの二連覇に花を添える。

優勝コメント

フォーリーフジャパン柔道部部長 藤熊 淳

昨年の「初出場初優勝」……

そして、今年の「連覇」……本当にうれしいことの連続です。

常々、選手たちに期待していることは「チームワークのよさ」です。選手たちは、みごとにそれを体现してくれました。

「精力善用」「自他共栄」……嘉納治五郎師範の教えを忘れることなく、さらにいいチームづくりを目指していきたいと思います。



女子第二部優勝 フォーリーフジャパンチーム



○立山 合技 島本

女子第二部成績表

優勝	フォーリーフジャパン	第3位	JR東日本グループ
準優勝	ヤックスケアサービス	第3位	ALSOK群馬総合ガードシステム

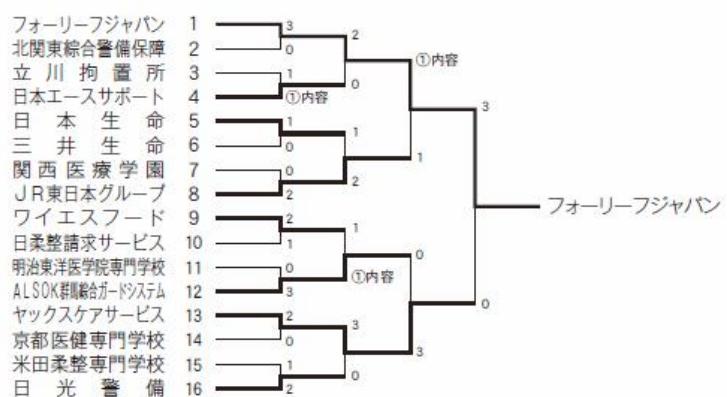
【準決勝】

フォーリーフジャパン (内番) ①-1 JR東日本グループ
松本 薫 2段 優勢勝 上原 円 3段△
川上 由貴 3段 —× 小島 佑香 3段
○立山 真衣 3段 大外刈 杉本明日翔 3段

ALSOK群馬総合ガードシステム 0-3 ヤックスケアサービス
阿部 千里 2段 横四方固 橋本奈実 3段○
箱田明日香 2段 縱四方固 相澤 実希 2段○
平岩 真実 2段 上四方固 島本裕子 2段○

【決勝】

フォーリーフジャパン 3-0 ヤックスケアサービス
○松本 薫 2段 大外刈 橋本奈実 3段
○川上 由貴 3段 後袈裟固 相澤 実希 2段
○立山 真衣 3段 合技 島本裕子 2段



創立六十周年記念祝賀会開催

6月5日(土)19時より千代田区内幸町の

帝国ホテル3階富士の間において、全日
本実業柔道連盟創立60周年記念祝賀会が、
2010年世界柔道選手権東京大会当連
盟関係者の壮行会を兼ねて、盛大に行わ
れた。

(財)全日本柔道連盟の上村春樹会長をは
じめとするご来賓の方々や本年9月開催
の世界柔道選手権東京大会の当連盟所属
の選手団並びにマスコミ関係の皆様、大
会役員、競技役員など総勢150余名が顔を
揃え、厳かな中にも和気藹々の雰囲気が
漂う式典、祝宴となつた。

式典は、山口信夫会長の挨拶、上村春
樹全柔連会長のご祝辞と続き、感謝状、
創立60周年記念表彰に移り、東西の事務
局会社である綜合警備保障株式会社（東
日本実業柔道連盟事務局）の村井温社長、
連盟の小山一民副会長に、山口会長から
感謝状と記念品が贈呈された。そして、
回大会の開催地福岡県を代表して福岡県
柔道協会の藤田弘明会長と九州実業柔道
連盟の山口信夫会長のあいさつ

彰状と記念品が贈呈された。

その後、創立60周年を祝してご来賓と
連盟役員により、賑々しく樽酒の鏡が開
かれ、小野沢弘史全柔連専務理事のご発
声による乾杯で祝宴に入つた。

宴が始まるに、各テーブルは瞬く間に
和やかな談笑に包まれ、祝賀ムード一色
に染まつた。そして宴のけなわのその時、
世界選手権東京大会選手団の壮行式が始
まり、日蔭副団長以下当連盟所属のコ
ーチ、選手計18名が登壇。山口会長から熱
い激励の言葉を受けた後、選手団を代表し
て日蔭副団長が力強く決意表明を行つた。

壮行式終了後、再び会場の至る所で全
国各地のお国言葉が飛び交う中、阿南惟
正副会長の万歳三唱により、お開きとな
つた。

第60回全日本実業柔道団体対抗大会・少年柔道教室開催

第60回全日本実業柔道団体対抗大会の閉会式終了後の6月6日午後4時から少年柔道教室が開催された。オリンピック2大会連続金メダリストの内柴正人選手（旭化成）や上野雅恵選手（三井住友海上火災保険）、谷本歩実（コマツ）を始め当連盟所属のオリンピック、世界選手権大会メダリスト15名が、東京都及び近隣県から参加した12道場、143名の少年少女達に約1時間の指導を行つた。

全体進行を2001年世界選手権ミュンヘン大会銀メダリストの金丸雄介全柔連強化コーチ（了徳寺学園）が担当。柔道教室は、金丸コーチのリードの下、準備体操から始まり、講師紹介と各得意技の披露、その後、会場を7グループに分け、2人で1グループを受け持つて、グループ別指導と交流試合、最後にはメダリスト達との楽しい記念撮影というカリキュラムで進められた。

真剣な眼差しでメダリストの指導に聞き入り、その得意技に見とれ、そして憧れの選手との乱取を経験した明日のメダリストを夢見る少年少女にとつては、

瞬く間の1時間。されど生涯忘れ得ない濃密な1時間であつたと感じる。



山口信夫会長のあいさつ



世界柔道選手権東京大会 壮行式



阿南惟正副会長の万歳三唱

